

第3次横須賀市子ども読書活動推進計画案に対する
パブリック・コメント手続の実施結果について

- 1 意見募集期間
平成29年11月28日（火）から12月21日（木）まで
- 2 意見の提出者数と意見件数
6人、16件
- 3 意見の提出方法の内訳
直接持ち込み2人 ファクシミリ1人 電子メール3人
- 4 項目別の件数

項目名	件数
計画全体に関する意見	—
第1章 第3次計画策定にあたってに関する意見	—
第2章 横須賀市の子どもの読書活動の現状に関する意見	—
第3章 第3次計画の基本的な考え方に関する意見	—
第4章 第3次計画の具体的な取組に関する意見	15件
第5章 第3次計画の推進に向けてに関する意見	1件
合 計	16件

5 パブリック・コメント手続きで提出された意見と市の考え方

No.	該当ページ	意見の概要	市の考え方
1	13	本を好きになるには、幼少期からの読み聞かせが欠かせません。本が好きかどうかで学力に差が出るといったデータや、子どもの頃の読書活動が成人してからの意識・意欲・能力に影響があるといったデータなどを含めた情報を、ブックスタート時や3歳児健診時、あるいは幼稚園・小学校の保護者会などで保護者に伝えるといった手段も考えてはどうかと思います。	<p>国が定めた子どもの読書活動の推進に関する法律では、子どもの読書活動が感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするものであることが謳われています。</p> <p>今回策定する本計画の重点取組である家庭における読書活動の推進では、幼児期における読書活動啓発事業の充実を目指す中で、その具体的な取組の一つに、3歳児健康診査時にブックリスト等の配布を挙げています。ブックスタート時や3歳児健康診査時に、子ども読書活動の理念を踏まえた情報提供を積極的に行ってまいります。</p> <p>幼稚園・小学校の保護者会等の機会の利用についても、園・学校と連携した事業実施の参考とさせていただきます。</p>
2	15	コミュニティセンターや愛ランドの子どもが本に親しむ事業について、おはなし会等の事業の充実に取り組まれていることはとても良いと思います。図書館に行きにくい地理的課題を持つ本市にとって、身近なところで本が好きになる取組を期待します。	<p>本計画の地域における読書活動の推進では、コミュニティセンターや愛ランドでのおはなし会等の事業の充実を具体的な取組として挙げています。市立図書館では既に定期的におはなし会を実施していますが、該当の市施設でのおはなし会等の事業についても、充実してまいります。</p>
3	18	中学校の学校図書館の環境が整ってほしいです。中学校生活で学校図書館が興味の持てる本に出会う場所、ほっと一息つける場所になってほしいと思います。以上の理由で、中学校への学校司書の全校配置を希望します。また、小学校の学校司書の拡充をお願いしたいです。	<p>本計画の重点取組である小中学校における読書活動の推進では、魅力ある学校図書館づくりを目指す中で、その具体的な取組の一つに学校司書の配置を挙げています。</p> <p>平成28年度から市立小学校全校に学校司書を配置したことにより、学校図書館の整備が進み、利用する子どもが増え、1か月当たりの読書量が増える等の効果が表れています。</p> <p>学校司書の配置の拡充が進むよう、努力してまいります。</p>
4	18	学校図書館への学校司書の配置について、小学校での配置における効果が明確に表れていることから、中学校への導入が進むよう期待します。	<p>NO.3と同様の趣旨で、学校司書の配置の拡充が進むよう、努力してまいります。</p>
5	18	第3次計画において、最も効果があると考えられるのは、やはり学校司書の拡充ではないでしょうか。まずは、現在配置のない中学校への全校配置を実現すべきと考えます。	<p>NO.3と同様の趣旨で、学校司書の配置の拡充が進むよう、努力してまいります。</p>

No.	該当ページ	意見の概要	市の考え方
6	18	横須賀市の中学校には学校司書が配置されていないと聞きました。週に何日か、1日でもいいですから、全校に配置してもらえないでしょうか。	NO. 3と同様の趣旨で、学校司書の配置の拡充が進むよう、努力してまいります。
7	18	市内小学校に学校図書館司書が配置され、学校図書館は子ども達にとって「調べ学習は学校の図書館でやる!」「行けばいろいろな本が読める!」「楽しくてわくわくできる」と休み時間になると一生懸命図書館へ通ってくる姿があります。けれども中学生になると、学校図書館は「いつも鍵がかかっているところ」「先生方の会議やPTAの講演会をする場所」「読みたい本もないし、調べもののできるほどの資料もないところ」となっています。中学校にこそ学校図書館司書の配置を願います。	NO. 3と同様の趣旨で、学校司書の配置の拡充が進むよう、努力してまいります。
8	18	小学校において、学校司書配置により大きな改善がなされていますが、1校あたり2週に3日という少ない勤務日数では、必要とされる仕事量に対し、とても対応しきれないのが現状です。小学校において、現状を踏まえ、学校司書の拡充をお願いします。	NO. 3と同様の趣旨で、学校司書の配置の拡充が進むよう、努力してまいります。
9	18	小学校の図書館司書の週5日専任での配置を希望します。昨年度より全校配置になった小学校の図書館司書ですが、2週に3日では、やりたいことも進めたいこともなかなか時間的にできない。また、授業での図書館活用となれば、先生方とのコミュニケーションが重要になっていく中で、いまの勤務体制では無理があります。	NO. 3と同様の趣旨で、学校司書の配置の拡充が進むよう、努力してまいります。
10	18	学校図書館司書については、図書館の先生として子どもたちのために助力してくださる方なので、学校長を中心に保護者へもっと周知していただきたいです。図書館司書の存在すら知らないという保護者がいる学校があると聞いています。	学校司書が子どもの読書活動推進のために、大きな役割を担っていることは明らかです。そのことを保護者に知っていただくことが大切だと考えておりますので、様々な場面で図書館司書の周知を図ってまいります。

No.	該当ページ	意見の概要	市の考え方
11	18	現在の司書教諭は、ほとんどが担任を持っており、司書教諭として学校図書館の活用を考えるための時間がなく、専門性を十分に発揮できていません。市全体として司書教諭の時間の確保に乗り出さなくては、調べ学習授業は簡単には実現できず、せっかくの学校司書配置も効果が半減してしまいます。横須賀市で調べ学習が当たり前のように行われるよう、司書教諭の時間の確保を実現してください。	本計画の重点取組である小・中学校における読書活動の推進では、魅力ある学校図書館づくりを目指す中で、その具体的な取組の一つに専任の司書教諭の配置を県に要求することを挙げています。 司書教諭の授業時数や学級担任の負担を少なくし、司書教諭としての時間を確保するためには、人的な配置が必要となりますので、これからも継続して専任の司書教諭の配置を要求してまいります。
12	18	学校では、学校図書館の利用指導授業が有効で、利用指導を行うと、その後、学校図書館に来る子どもが増えるという状況を見てきました。学年のレベルに合わせ、毎年行うことが大切だと思います。	利用方法や利用のルールを知ることによって、子どもたちが積極的に学校図書館を利用しようとする姿勢が身につくと考えられます。 これからも子どもの発達段階に応じた学校図書館の利用指導を適宜行ってまいります。
13	18	第3次計画の中に「学校図書館の蔵書情報のデータ化の試行」という取り組みがありますが、第2次計画にも記載があったと記憶していますが、十分な検討が終わり、データ化の試行に取り組むという理解でよいのでしょうか。	学校図書館の蔵書情報のデータ化については、第2次計画でも検討を行ってまいりました。しかし、情報の整理方法やデータ化の手順等の検討は実施していますが、具体的なスケジュールについては確定していません。 よりわかりやすい標記とするため、18及び29ページの具体的な取組名称を「蔵書情報のデータ化の検討」といたします。
14	18	市立図書館と学校図書館との連携も積極的に行ってほしいと思います。市立図書館の司書が学校を訪れて、いまの子ども達の読書傾向を知る機会を持ったり、学校司書と会話して、どんな資料を学校や子どもたちが必要としているのかを知るような機会を持ったりすることも必要ではないでしょうか。	本計画の重点取組である小中学校における読書活動の推進では、学校と市立図書館の連携強化を目指す中で、その具体的な取組の一つに学校司書と市立図書館職員の情報交換及び連携を挙げています。 これまでも学校司書を対象とした研修会の講師を市立図書館司書が務める等の連携をしていますが、今後は学校司書の会議の機会に市立図書館職員が参加する等の方法でさらに連携を深めてまいります。
15	18	小学校では調べ学習授業が増えつつありますが、各教科の単元に合わせた資料がそろっていないため、単元によっては授業ができないということもあるようです。団体貸出の仕組みはありますが、学校の先生が図書館まで取りに行く必要があるため、自家用車を持たない先生では、それができません。学校に資料がそろうまでの措置として、学校と市立図書館を結ぶ図書配送の体制を整えてください。	本計画の重点取組である小中学校における読書活動の推進では、学校と市立図書館の連携強化を目指す中で、その具体的な取組の一つに学校と市立図書館間の図書配送便の実施を挙げています。 これは、教員が市立図書館に足を運ばずに、市立図書館の蔵書を利用できるしくみを整えるための事業です。 新規事業ですが実施できるよう努力してまいります。

No.	該当ページ	意見の概要	市の考え方
16	26	<p>中学校の学校図書館が常に開いているのが23校のうち1校という現状に驚きました。調べたい時、利用したい時のみでなく、心が落ち着く、楽しいと思える場所にするためには、休み時間は必ず開いていることが求められると思います。成果指標では、8校まで増やすにとどまっていますが、さらに大きな目標を持つとともに、各校少しでも開館時間が増えるようにしてください。</p>	<p>平成23年度の調査において、学校図書館が常に開いている中学校がなかった状況から平成28年度調査で1校にしか増えなかったことから、平成33年度（2021年度）時点で8校という目標としました。</p> <p>中学校については、様々な事情から学校図書館を常に開くことが難しいのが現状です。一方、ほとんどの学校で昼休みを中心に、一部の時間であれば図書館が開いている現状であることから、これらの学校においても開館時間が拡がるよう努力してまいります。</p>